埼玉県高等学校等奨学金に関する規則（平成十八年十一月七日）
教育委員会規則第四十一号）

（専修学校の高等課程）

第一条 埼玉県高等学校等奨学金に関する条例（平成十八年埼玉県条例第六十一号。以下「条例」という。）第一条の規定により別に定める専修学校の高等課程は、職業に必要な技術の教授を目的とする修業年限二年以上の高等課程で、工業関係、農業関係、医療関係、衛生関係、教育・社会福祉関係若しくは商業実務関係の分野に属する専修学校（保健師助産師看護師法（昭和二十三年法律第二百三号）に基づき指定を受けた学校又は養成所を除く。）の学科又は服飾、デザイン、写真、外国語、音楽若しくは美術に関する専修学校の学科であって、その授業が年二回を超えない一定の時期に開始され、かつ、その終期が明確に定められているものとする。

（金融機関の指定）

第二条 条例第二条の規定により指定する奨学金の貸与の事業を行う金融機関は、埼玉県内に店舗を設置し、かつ、埼玉県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める要件に該当するものうちから、協議の上教育長が指定する。

（在学することとなる者）

第三条 条例第三条第一号イの規定により高等学校等に在学することとなる者で別に定めるものは、入学しようとする高等学校等の合格通知書の写し又は合格証明書その他教育長が必要と認める書類を教育長に提出した者とする。

（事業の要件）

第四条 条例の規定により行う奨学金の貸与の事業は、次の要件に該当するものでなければならぬ。

一 月額奨学金は、条例第三条第一号のいずれにも該当すると教育長が認めた者（次号において「奨学生」という。）に対して、次のイ又はロに掲げる者の区分に応じ、当該イ又はロに定める方法で貸与されること。ただし、特別な事情があるときは、この限りではない。

イ 高等学校等に在学する者（ロに掲げる者を除く。） 四月分から翌年の三月分までを一括して貸与

ロ 前条に規定する者 四月分から九月分まで及び十月分から翌年の三月分までの二期に分けて貸与

二 入学一時金は、一括して奨学生に対して貸与されること。

（委任）

第五条 この規則に定めるもののほか、奨学金の貸与、返還等に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、平成十九年三月一日から施行する。ただし、次項及び附則第三項の規定は、同年四月一日から施行する。

（埼玉県高等学校等奨学金の貸与に関する規則の廃止）

2 埼玉県高等学校等奨学金の貸与に関する規則（平成十四年埼玉県教育委員会規則

第二十号)は、廃止する。

(経過措置)

3 前項の規定の施行前に廃止前の埼玉県高等学校等奨学金の貸与に関する規則の規定に基づき貸与の決定がされた奨学金の貸与及び返還については、なお従前の例による。

附 則 (平成二十二年三月三十日教育委員会規則第八号)

この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。